

私たちの町議会 りくべつ

No. 115

発行日・令和6年2月16日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

12月定例会

陸別町議会12月定例会は、12月5日から6日まで、2日間開かれました。今定例会では、条例案9件、補正予算案7件、委員の選任1件を可決または同意し、閉会しました。

ふれあいの湯入浴料 大人490円に値上げ 《満70歳以上の町民は100円で据え置き》



▶ふれあいの湯(保健センター)

陸別町保健センター条例の一部を改正する条例を可決
北海道の公衆浴場入浴料金の統制額が令和5年10月1日で改定されたことから、北海道の統制額と同額に改正するものです。
令和6年4月1日から中学生以上の区分は現行450円を490円に、小学生140円を150円に、小学校就学前70円を80円に改正となります。
なお、満70歳以上の町民と歩行浴を単独で使用する場合については、変更ありません。

補正予算質疑

地域間幹線系統路線 維持費補助金

2千207万円

Q コロナウイルス感染症の拡大に伴う利用者の減少を理由に、一時減便の取り扱いになっていたが感染症法の分類が5類になった現在は、以前の便数に戻っているのか。

A 十勝バスは令和4年12月から令和5年8月まで2便が減便となっていたが、8月以降のダイヤ改正等で通常運行に戻っている。

また、北見バスについては運転手不足が継続しており、12月のダイヤ改正で北見から陸別行きが1便、陸別から北見行きが2便の減便になっている。

Q 沿線市町村の負担金の増加が、過大に重く感じるのではないかと推測するが、特別地方交付税の



▲上下9便ずつ運行している十勝バス

行方によっては路線の維持の検討も噴出するのではないかとと思うが、その心配はないのか。

A この沿線市町村の負担の8割が特別地方交付税で措置されるが、2割については沿線市町村の負担で、その負担が大きくなっているのも事実である。陸別町にとっては唯一の公共交通機関で、住民の足を守るという意味からも何とか路線を維持していきたい。バス事業者にも営業努力を続けていただき、赤字部分を減らす努力をお願いしつつ、沿線として一緒になって支えていきたいと考えている。

一般質問

12月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

活力ある商工業の振興と

りくべつ牛乳の増産加工販売へ

工藤 哲男 議員

問 模擬議会で出された中学生の意見は同感するところであり、その中学生の意見を踏まえて、商業振興のために他産業の活性化対策をどのように進めて行くのか。また、令和5年の出生数が4人であることから少子化対策は喫緊の課題である。人口減少による活性化策をどのように考えているか。

町長 先を見据えた町づくりを考え、町民の意見を聞き検討する。企業誘致についても関係者等と意見交換をしているし、町内各団体と懇談し場当たりのではない政策を進めていく。商工会にはプレミアム商品券に係る手数料への補助を提案している。人口減少の問題は、優先順位が最も高い。移住や新規就業者などトツプセールスを地道に行い、

問 飲食店の減少は、従業員の確保ができないからだと聞いている。町内事業所の労働力不足は課題なので、町長や町職員が海外に出向き外国人労働者を確保する考えはあるか。

町長 人材確保に苦勞している。町が個人企業の人材確保に向くことは困難であるが、募集説明会、各団体に同行する形で町のPR等はできる。人材確保については、町が何ができるのか職員と共に模索中である。

陸別だから住みたい人を探して行きたい。

問 Aコープは、継続する意向だが冷蔵冷凍機器の更新が必要である。町に新たなスーパー店舗の誘

町長 現時点では、スーパーマーケットの誘致は考えていない。Aコープは町にとつて大切な店舗であるが、他の商店との平等性やバランスを考え、関係団体等と協議していく。慎重に考え情報収集したい。

問 町長の公約の重点政策にある「まちなか再生プロジェクト」について、いつからどのような施設で取り組む計画なのか。

町長 10年20年先を見据えたもので、今後の高速道路の動向も鑑みて土地活用方法など内部協議している。今は公表できないが、他町村の例も参考とし町民の意見を聞きながら、資材高騰による事業費とのバランスを考慮して進めたい。

致を考えているのか。または、Aコープ存続のため冷蔵冷凍機器の購入に助成する考えがあるか。

町長 「りくべつ低温殺菌牛乳」「りくべつミルクのおあずけプリン」を日

町長 りくべつ牛乳は、農畜産物加工研修センターで月2回程度製造しているが、スケジューリング調整が難しく増産は困難である。6次産業化は情報提供等の支援をしている段階、募集よりは志があり興味を持った人に起業願いたい。また、起業にあたっては、町づくり補助金等を活用いただきたい。

問 「パン屋を道の駅に併設」という中学生の意見があった。牛乳を使ったパンの製造販売等における、町内外に地域おこし起業者の募集を考えてはどうか。

町長 地域おこし協力隊と対する事業承継推進員や提案型の地域おこし協力隊を検討中で、パン屋にこだわらず考えている。

問 「りくべつ低温殺菌牛乳」「りくべつミルクのおあずけプリン」を日

ここが聞きたい



社会教育事業と

教育施設の現状について

中村 佳代子 議員

問 社会教育活動は、人づくり・地域づくり・絆づくりの要である。第9期社会教育計画策定時のアンケート調査で町民ニーズが示されているが、要望に

応える成人教育の取り組みを充実させる必要があるのではないか。

答 社会教育・社会体育活動は、一般の方たちが豊かな生涯を送る糧として重要なものである。成人対象の講座は、過去においても開設数が少なく、対象世代のニーズに答えられていないため課題であると捉えている。

問 社会教育活動の企画運営は、片手間でできることではない。現在、社会教育担当職員が小学校の理科教諭を兼務しているが、

そのことが事業停滞の原因ではないか。

ではないか。

答 授業は週2日、1日当たり3コマ程度であり、担当業務に影響はないと考えている。

問 今議会で、教育委員当が増額された。他の職員にも負担がかかっているのではないか。

また、冒険・体感インとうきょうの代替事業も教委職員のみで行っているが、他課からの応援も必要ではないか。

答 本来の職員数が配置できておらず全体的に時間外が増えている。兼務職員も同様である。管理職が業務のバランスをとっているが、その必要が生じたときは町に人的要望をしていく。

問 水泳プール建替えてする案が7月に示された。まちなか再生プロジェクトやスーパーマーケット問題など、今後の町づくりの課題について町民ともっと議論を交わすべきである。町のランドデザインを策定するなど、プールの建替えについても町民が納得できる形で段取りを踏む必要があるのではないか。

答 プールに関しては、改築検討委員会を設置して1年間の議論のうえ、報告書の提出を受けた。よって、十分に町民意見が反映されていると考えている。

問 改築検討委員会の報告書には、新施設に求められる機能として個人が利用しやすい健康増進に寄与できるもので、通年して利用できるトレーニング室は必須だと記載がある。しかしながら、プール単体で建替える考え方に至った理由はなにか。

答 昨今の資材高騰で建設費が高くなり、町と協議した結果、プール単体での建替えとした。改築検討委員には文書で変更を報告している。

中学生等海外研修

派遣事業休止の理由は

問 28年続けてきた中学生等のカナダ研修派遣事業は、子供たちが自国を理解し異文化や多様性を受け入れ、異国での体験がその後の人生にインパクトを与える貴重な経験であり、本町は他町に先立って取り組んできた誇りがある。人材育成への投資であり、英語力強化に国を挙げて取り組んでいるこの時になぜ休止するのか。

答 中学校での年間授業時数の確保が難しく、無理に進めてきた経緯がある。また新型コロナウイルス感染のリスクも大きく、安全安心に派遣することができないと判断した。新たに外国語能力等の向上に資するため、二セコ町にて英語研修派遣事業を実施している。

しばれフェスティバルの 運営体制について

濱田正志 議員

問 次回しばれフェスティバルの中止が発表されたが、全国的に有名なイベントになっており、今後の陸別の観光に大きな影響を与えると考えている。持続可能なイベントにするために組織の一新を図るには時間がかかるというところだが、町長の考える持続可能な組織とはどのようなものか。

町長 しばれフェスティバルをやめる訳にはいかないという考えであり、町主催という責任があるもので、私自身が実行委員長になって乗り越えようと思っっている。持続可能なイベントにするために、組織を再編して皆さんに無理のないものをつくっていったら良いと考えた。

一つの案として、町内、町外から実行委員を募集したい。私が覚悟を決めて実

行委員長をやるならば、職員も覚悟を持って進んで行かなければならないと思う。気持ちは皆さんと一緒に、このイベントを1回でも多く続けていきたい。

問 商工会青年部が実行委員長をできなくなつたのは、青年部の後継者不足が問題である。現町長が実行委員長を担うとしても、次の町長が引き継ぐかどうかも分からないので、持続可能な体制となるのか疑問である。

実行委員を募集し実行委員会が組織化された体制の中で、やりたい方がいれば実行委員長をお任せするというのも後継者づくりの一つだと思う。

今後このような実行委員長の経験を積む方が増えていくことこそ持続可能

なイベントになる本質だと思つので、実行委員会から実行委員長を出す考えがあるか。

町長 今回の難局を乗り越切つて、2025年2月のしばれフェスティバルは、私が実行委員長として必ず開催する。その後については、実行委員会の皆さんの協議で決めれば良いこととであり、1年1年積み重ねることこそ持続可能な方向になれば良いと考える。

バイオガスエネルギーの 2次利用について

当町のバイオガス施設も稼働して1年が過ぎ、収支もこれから明らかになるが、今後も町の財政出動による補填がなされるものと思う。そこで、バイオガスの余剰エネルギー有効活用により、町の財政に寄与すべきでないか。例として、岡山理科大学で実証されている魚の陸上養殖により、ブランド作り、ふるさと納税返礼品や給食の食

材活用などをしながら、町の財政を健全な方向に向けていく考えはないか。

町長 今は第一として、バイオガス発電の安定稼働を目指して取り組んでいる。提案のあった陸上養殖は、現地視察もして大変興味を持ったところだが、やはり維持費や設備投資の課題が残ってしまう。今後バイオガス関連事業については、議員の皆様にも情報をいただきながら良い方向に進めていきたい。



▶しばれフェスティバル

带状疱疹の

予防接種費用の助成について

谷 郁司 議員

問 带状疱疹とは、水ぶくれを伴う発疹が帯状に現れる皮膚の疾患で、子供の頃にかかった水ぼうそうウイルスが体の中で長期間潜伏し、加齢や疲労によって免疫力が低下した際などに発症する。近年50歳過ぎの方では新型コロナウイルス接種により免疫が落ちることで発症するのではないかともいわれている。また、一度発症すると長期にわたり後遺症的に痛みが残ることもあると聞いている。この対策として、带状疱疹予防ワクチンがあるが高額なため接種にためらいがある。国としての対策はどのようなか。

ワクチンが薬事承認され、有効性・安全性・費用対効果・持続期間や導入年齢、定期の予防接種とすべきかなどについて、現在も議論されている。

十勝管内でのワクチン接種助成は、土幌町と上土幌町で実施している。

問 コロナ禍における当町の带状疱疹患者数を把握されているか。

町長 正確な数字の把握は困難であるが、令和2年3月から3年8ヶ月間に当町診療所で治療薬を処方した方は延べ85人になる。

この薬は带状疱疹以外にも適応するため全てが带状疱疹の方ではないが、年間20人程度の方が処方されている。このほか皮膚科を受診されている方もいると思う。

問 带状疱疹ワクチンは2種類あり、不活化ワクチンは2回接種で4万円程度と高額である。当町の高齢者の方々は、安心して元気に余生を送り続けられるように、ワクチン接種を希望する方に助成して実施する考えはないか。

町長 町民皆さんの健康増進、維持、いつまでも健康で暮らしていくことができる環境づくりの観点から、带状疱疹ワクチン接種の助成をすでに検討している。他町村の状況も参考にしながら進めていきたい。

加齢性難聴者 対策として

問 国民健康保険加入者が行う健康診断と同様に聴力検査を実施できないか。加入する保険の違いによって区別するのはなぜか。

町長 特定健診を受託している対がん協会に問い合わせたが、国保者はできないと回答を得た。特定健診を3日間で行うためにはぎりぎりの態勢であり、保健師も工夫しながら実施しているのが現実で、検査を1項目増やすことはなかなか難しい。

問 町として聴力測定器（オージオメーター）を備え、中等度難聴（40dB〜70dB）と判定された方には耳鼻科受診を勧め、その結果としての確な補聴器を購入した時に助成してはどうか。この件は過去から数回質問してきた。高齢者が安心して住み続けるには、耳からの情報は重要な役割を果たす。災害時の緊急戸別受信器を備えるには高額と伺っているので、低額な補聴器で対応できるのではないか。

町長 補聴器購入に助成している自治体は、十勝管内にもあります。現時点で助成する考えはないが、町民皆さんのニーズを見届け、色々と整理して検討してみたい。

また、十勝管内でワクチン接種に助成をしている自治体を把握しているか。

町長 国の動きですが、平成30年3月に带状疱疹

議会運営委員会 行政視察報告

浦幌町議会の議員の
なり手不足解消に向
けた取り組み

議会運営委員会

委員長 三輪隼平

当町議会は、令和5年統一地方選挙において前回に続き今期も無投票で、かつ、1名の欠員が生じた。この事態を受け、議長から「議員のなり手不足解消に向けた取り組み等」に関する諮問が、議会運営委員会に対してなされ、3年以内の答申を求められた。

今後の取り組みの参考とするため、令和5年統一地方選挙において、若年議員や女性議員が誕生した浦幌町議会の先進的な取り組みを聞いた。

浦幌町議会は、平成23年から議会活性化の議論が始まったが、議員定数削減後の平成27年統一地方選挙では1名の欠員が生じる結果であった。その後、議員の

なり手不足の検証を議会活性化の視点に加えて取り組んだ結果、前回・今回の議員選挙で、若者や女性の立候補者を複数人誕生させている。

議員のなり手不足の検証という視点から、町民が議会や議会制度をどう捉えているかなど、今後の議会のあるべき姿について分析するために町民アンケートに取り組んでいる。その結果として、議会・議員・事務局で構成する「チーム議会」を始動させ、議会報告会、議会モニター制度、議会活性化講演会、まちなかカフェDE議会といった数々の取り組みを行い、町民に開かれた・身近な・町民参加の議会となるように活動していた。また、町民の傍聴機会を拡充するために実践したナイター議会・日曜議会については、町民から概ね高い評価を得たところだが、通常開催として採用できないとの判断であった。議員のなり手不足の課題

として議論されることが多い議員報酬については、選挙で選ばれる町長の給料をベースとして、議員としての活動日数により算出する浦幌方式とされる独自の考え方が導入されている。これに関しては、議会報告会などで町民に説明し、理解を得てきたことから導入に至っていた。

浦幌町議会では、議員なり手不足の検証のまめとして、議会は議会の立場で町民とともに考えるきっかけづくり等の環境整備を行い、また、議会・議員及び住民自治のあり方を考え、議員を議会へ送り出すのは町民であると総括されていた。浦幌町議会の活性化として、町民を身近にして取り組まれた活動を経たからこそ至ることができたと感じた。

今回の視察では、議員のなり手不足対策そのものを議論するといったよい、いかに議会が町民ととも

にあることが重要で、そのため様々な視点から町民に開かれた議会を目指した結果の先に、議員のなり手不足解消への道筋ができるようにも思うことができた。当町議会においては、今までに取り組みのない活動ばかりであったので、今後における取り組みの協議を行うにあたっての参考とする。



▲ グループに分かれて意見交換

東京陸別会に出席して

報告者 議長 久保広幸

11月18日（土）、東京都内の全国町村会館にて第19回東京陸別会総会・交流会が開催され、陸別から本田町長他1名及び石橋商工会長、そして町議会からは渡辺、工藤両議員と共に、合わせて6名が出席しました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、令和元年度以来、4年振りの開催となりましたが、今年も酒々井町から齋藤副町長他5名の方が、また、東金市関寛齋顕彰会の方々などが来賓として出席される中、挨拶に立った本

田町長は、町づくりの姿勢について話されました。特に、当町を代表するイベントであります『おびわフェスティバル』の今後の取り組みについて、担い手の減少に対応した実施体制への見直しが必要と判断し、次回開催の延期を選択せざるを得ないものの、再来年2月には必ず再開させることを話されました。

また、宮崎民雄東京陸別会々長は冒頭の挨拶において、高齢化に伴う会員の減少が続く中で、今後の会の在り方を検討しなければならぬことを述べておられました。



▶ 4年ぶりの開催で親睦を深めた

第3回臨時会

11/22

令和5年11月22日に、第3回臨時会が開かれ、令和5年度一般会計補正予算案1件を可決しました。

●主な補正予算

農業者緊急支援事業

4千920万円

陸別町農業近代化資金

利子補給事業

54万円

斗満橋設計変更委託料

250万円

橋りょう補修工事

△180万円

監査委員の選任

1月26日に任期満了となる共栄第一の飯尾清氏の後任として、共栄第一の村本和弘氏を選任したいとの提案があり、同意することに決定しました。

令和5年度 各会計補正予算

会計名		補正額	総額
一	一般会計	△1,477万円	54億 159万円
特別会計	国保事業勘定	△9万円	3億 5,215万円
	国保直診施設勘定	△257万円	3億 4,319万円
	簡易水道事業	△38万円	1億 9,337万円
	公共下水道事業	8万円	1億 3,180万円
	介護保険事業勘定	2,957万円	3億 4,362万円

議会の動き

29日 帯広市議会
議員研修会参加
(帯広市)

【11月】
13日 十勝町村
議会議員研修会

(幕別町)

14日 議員協議会
15日 議会運営委員会
管内行政視察

(浦幌町)

22日 議会運営委員会
第3回臨時議会
議員協議会

【12月】

1日 議会運営委員会
5日 12月定例会
議員協議会

6日 総務常任委員会
産業常任委員会
12月定例会
総務常任委員会

22日 議員協議会
【1月】
19日 議会運営委員会
(広報編集会議)

24日 議会運営委員会
第1回臨時議会
議員協議会

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
12月定例会(12/5~12/6)	
● 監査委員の選任について	同意
● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町保健センター条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町公営企業の設置等に関する条例	可決
● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決

次回の定例会は3月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会
ホームページ
のご案内



【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>